岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和８年１１月１２日（木）　岐阜県発表資料			
担 当 課	担 当 係	担 当 者	電 話 番 号
観光企画課	観光魅力創造係	赤座	内線 3932 直通 058-272-8396 ＦＡＸ 058-278-2674

劇場版『VIVANT』の上映を契機とした
ロケツーリズム推進の取組を実施します！

県では、県内への観光誘客を促す取組の一環として、ロケツーリズムを推進しています。
県内でもドラマ撮影が行われた日曜劇場『VIVANT』について、このたび、劇場版『VIVANT』が１２月４日（金）から上映されるにあたり、そのプロモーションと連携して県内へのロケツーリズムを推進する取組を下記のとおり実施します。

記

１　県庁２０階「展望ロビー」　フォトスポット設置

（１）期間：令和８年１１月１３日（金）から令和９年３月２２日（月・祝）まで
（２）内容：「展望ロビー」で撮影された、野崎（のざき）と樊（はん）の密会シーン（第１４話）のセットを再現したフォトスポットを設置

＜設置物＞
- テーブル（県産材使用）、椅子、照明器具等
- 中華料理の食品サンプル（郡上市製）
- ドラマ撮影地であることを示す看板



＜設置イメージ＞

２　県庁２０階「展望ロビー」　ガラス面に劇場版『VIVANT』ロゴ掲示

（１）期間：令和８年１１月１３日（金）から令和９年３月２２日（月・祝）まで
（２）内容：「展望ロビー」のガラス面に、劇場版『VIVANT』ロゴを掲示。
併せて、ワインとグラスを持った樊のシーンを再現して撮影できるよう、プラスチック製のワイン瓶とグラスも設置



＜掲示イメージ＞

３　県庁２０階「展望ロビー」　日曜劇場『VIVANT』撮影時の照明再現

（１）期間：令和８年１１月２８日（土）から令和９年３月２２日（月・祝）までの土日祝日開放時の１８時から２０時（その他ライトアップが行われる日を除く）
（２）内容：「展望ロビー」で撮影が行われた際の照明設定を再現

＜「展望ロビー」撮影時の照明再現スケジュール＞
令和８年１１月２８日（土）、２９日（日）
１２月　５日（土）、　６日（日）、２０日（日）
令和９年　１月　９日（土）、１０日（日）、１１日（月・祝）、１７日（日）、
２３日（土）、２４日（日）、３０日（土）、３１日（日）
２月　６日（土）、　７日（日）、１１日（木・祝）、１３日（土）、１４日（日）、
２１日（日）、２３日（火・祝）、２７日（土）、２８日（日）
３月　６日（土）、　７日（日）、２１日（日）、２２日（月・祝）

４　撮影小道具の展示（県庁１階「ホワイエ」、県庁２０階「展望ロビー」）

（１）期間：令和８年１１月２２日（日）から令和９年１月１１日（月・祝）まで
（２）内容：撮影で実際に使用された小道具類を展示
＜展示物＞　場所：ホワイエ
・チョッキー別荘のシーンで使用された食器類
・納豆のパッケージ
・ノゴーン・ベキらの骨壺（美濃焼製）
場所：展望ロビー
・野崎と樊の密会シーンで使用された食器類

５　「ＧＡＬＬＥＲＹ　ＧＩＦＵ」での撮影小道具等の展示

（１）期間：令和９年２月１９日（金）から３月７日（日）まで
（２）内容：県庁１階「ＧＡＬＬＥＲＹ　ＧＩＦＵ」にて、撮影で実際に使用された小道具類や関連したものを展示
＜展示物(予定)＞・「４　撮影小道具の展示（ホワイエ、展望ロビー）」と同様
・その他県内の撮影で実際に使用された小道具
・ロケ地自治体連携ＰＲコーナー　等
※詳細は、後日発表

６　「劇場版『VIVANT』×岐阜スタンプラリー（仮称）」の実施

（１）期間：令和８年１２月上旬から令和９年２月中旬（予定）
（２）内容：県内のドラマロケ地を巡るスタンプラリーを実施。
※詳細は、後日発表





７　その他、既に実施している取組の継続

（１）県庁１階「ホワイエ」のフォトスポット
令和９年３月２２日（月・祝）まで設置を継続

（２）県庁玄関前屋外のモニュメント
令和９年３月２２日（月・祝）まで設置を継続

８　県庁２０階「展望ロビー」　『VIVANT』公式ライセンス商品の販売

（１）期間：令和８年１１月１４日（土）から１２月２７日（日）までの土日祝日
（２）時間：１０：００～１５：００
（３）商品：『VIVANT』ライセンス商品
・栗フィナンシェ（良平堂）
・栗クッキーサンド（良平堂）
・珪藻土コースター（立風製陶）
・プリントクッキー（長登屋）　など

＜展示期間中の閉庁日＞

令和８年１２月１２日（土）、１９日（土）
年末年始（令和８年１２月２９日（火）から令和９年１月３日（月））
令和９年　１月１６日（土）、２月２０日（土）、３月２０日（土）

※他イベント実施等により一時的に、これらの展示を撤去する場合があります。
次の県公式ウェブサイト内ページをご確認ください。〈https://www.pref.gifu.lg.jp/page/513147.html〉

＜開放日時＞

平日　　：７時３０分から１７時４５分まで
土日祝日：１０時から２０時まで（最終入庁　１９時３０分）

劇場版『VIVANT』とは

2023 年７月より、TBS 日曜劇場枠にて放送されたテレビドラマ「VIVANT」。
堺雅人が主演を務め、「半沢直樹」シリーズ、「下町ロケット」シリーズなどを手掛けた福澤克雄が演出だけでなく原作も手掛けた緻密で繊細な完全オリジナルストーリー。
平凡な商社マン・乃木憂助（堺雅人）が、130 億円の誤送金事件をきっかけに、日本国内に実在すると噂される自衛隊の極秘組織「別班」の疑いがかけられ、国際テロ組織「テント」や公安警察の思惑が絡み合う壮大な戦いに身を投じていく物語は、複雑に絡み合う予測不能なストーリーと豪華キャストの競演、テレビドラマの枠を超えた圧倒的なスケールと映像美で多くの視聴者を魅了した。
2023 年に放送された１話から１０話は、タイムシフトを含むテレビ放送の総視聴人数は 6,000 万人超え、（※ビデオリサーチ調べ 全国３２地区、2023 年７～９月）第１０話では世帯平均視聴率 19.6%（※ビデオリサーチ調べ、関東地区）という驚異的な数字をたたき出し、圧倒的な人気と存在感を日本全国に知らしめた。
その評価は視聴者だけに留まらず、「東京ドラマアウォード 2024」では連続ドラマ部門グランプリ、「第 117 回ザテレビジョンドラマアカデミー賞」最優秀作品賞をはじめ主要部門を多数受賞。
世の中のトレンドの指標となる、「Yahoo!検索大賞 2023」ドラマ部門１位、「2023 第３６回小学館 DIME トレンド大賞」エンタメ・カルチャー部門金賞、「TVer アワード 2023」特別賞などの各賞を受賞。加えて、海外バイヤーが選ぶ、海外に売りたい日本のコンテンツに与えられる「MIPCOM BUYERS' AWARD for Japanese Drama 2023」でグランプリに選出されるなど、テレビドラマ作品として国内外で高い評価を受けている。

そして 2026 年７月からは、待望の続編として異例の２クール連続という特大スケールで放送。アゼルバイジャンでの大規模ロケなども敢行され、全てがグレードアップ。
７月２６日（日）から第２シーズンの放送が開始すると初回の第１１話から世帯平均視聴率 18.8%を記録した。（※ビデオリサーチ調べ、関東地区）第１１、１２、１３話と無料配信の再生数が３話連続で 1,000 万回を突破し、（※TVer DATA MARKETING にて算出 ※配信期間は８月９日～９月５日※再生数は TVer と TBS FREE の合計値）テレビドラマにおける前人未到の記録を次々と打ち立てている。
X（旧 Twitter）においても放送中からトレンドを席巻し、毎週世界トレンド１位を獲得するなど、日本中を再び熱狂の渦に巻き込んだ。

そんな多くの伝説を打ち立てた『VIVANT』は、2026 年１２月４日公開での映画化が決定。
日本中が固唾をのんで見届けたテレビドラマ最終回から、１カ月も経たない期間での異例の公開となる。
全ての“謎”を解き明かす大冒険、オールスターキャスト勢ぞろいの競演。
敵か味方か、味方か敵か、正義か悪か、裏切りか愛か―。
世の中の話題を席巻し続け、「VIVANT」YEAR となった 2026 年のまさに“ラストピース”。
多くの視聴者に愛され、熱狂の渦に巻き込んだ『VIVANT』は、スクリーンで集大成を迎える―。

◆映画公式サイト　　https://vivant.toho-movie.jp/
◆コピーライト表記　©2026 VIVANT 25 F.P.